

2019年5月9日

各位

会社名 株式会社ミライト・ホールディングス
代表者 代表取締役社長 鈴木 正俊
(コード番号 1417 東証第一部)
問合せ先 取締役 経営戦略部長 原 隆一
(電話番号 03-6807-3119)

新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、このたび 2019 年度を初年度とする新中期経営計画(最終 2021 年度)を策定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 新中期経営計画の基本的な考え方

当社グループを取り巻く事業環境は転換期を迎えております。情報通信分野においては、お客様である通信キャリアのビジネスモデルが変化していることに加え、今後は第5世代移動通信システム(5G)を活用した新サービスの提供が期待されています。また、本格的なIoT時代の到来に向けて新たなソリューションに対する需要の高まりや、2020年にに向けた社会インフラの再構築が加速するなど、事業環境は今後も大きく変化していくことが予想されます。

このような環境のなか、経営統合により拡大した経営資源を最大限活用するため、2019年度から3年間の新中期経営計画を策定いたしました。

この計画に基づき、「総合エンジニアリング&サービス」を基軸に事業構造の転換を加速する中で、経営統合シナジーを最大化し更なる成長を目指してまいります。

2. 新中期経営計画の経営目標

新中期経営計画の最終年度(2021 年度)における経営目標は、次の通りであり、ROE は 8%以上を目指します。

	2018 年度実績 (2018.4~2019.3)	2019 年度予想 (2019.4~2020.3)	2021 年度目標 (2021.4~2022.3)
売上高	3,759 億円	4,300 億円	4,500 億円
営業利益	206 億円	215 億円	270 億円

3. 新中期経営計画における経営戦略

今次計画の推進にあたっては、以下のような主要施策を展開してまいります。

(1) 新たな事業機会の創出

- 経営統合により深化した地域カバレッジを活用したソリューションビジネスの展開
- 従来の事業分野や技術の枠組みを超えた新たな事業機会へのチャレンジ

(2) 事業構造の転換を加速

- キャリア事業からソリューション事業への転換を加速
- ソリューション事業の質の転換(利益重視)の促進

(3) 生産性の向上と事業運営コストの効率化

- パートナー会社との連携強化による工事稼働の確保
- システムの共有化と共通業務の集約

(4) 人材基盤の強化

- 働き方改革による生産性向上と人材確保
- 新事業分野の拡大や事業変革を支える人材の強化・活性化

(5) ESG 経営の推進、安全・品質

- ESG 強化の観点から、事業をリスクと機会の両面から捉え的確に対応
- 「安全・品質の向上」で、お客様からの安心と信頼に応えるミライトグループブランドの確立

(6) 資本政策

- 健全な財務体質の維持
- 資本コストを意識した経営
- ROE 8%以上の実現に向けた自己株式の取得

以 上